

第3回透析室勉強会の報告

今回はテルモ株式会社に腹膜透析について勉強会をしていただきました。

腹膜透析は自宅で行うため自分の生活スタイルに合わせて治療が行えます。また、血液透析治療を行う上で欠かせないバスキュラーアクセスの作成が不要なことや、ゆっくりと時間をかけて行うため、血液透析を行うこと自体が困難な患者様などに適しています。しかし、腹膜にカテーテルを留置する必要があるため清潔操作が必要で十分に感染に注意する必要があることなど、メリットとデメリットについて学びました。

原理については、老廃物の除去は拡散で行われ、物質移動のピークが約6時間であるため1日に4~5回のバッグ交換が必要であることや、除水は浸透圧で行われるため、除水の程度により使用する透析液を変更する（ブドウ糖濃度により）必要があることなどを学びました。また、バッグ交換練習用のエプロンを装着して清潔手技についての実技練習も行いました。

